

# 当初予算

## 予算の主なもの

### 地域社会の支え合いを基盤とした福祉社会の実現

#### ★就労支援員配置事業費

【311万8千円】

稼働能力のある生活保護受給者を対象に面接支援などの就労支援サポートを行う就労支援員を配置します。

#### 新和・和久野保育園(仮称)建設事業費補助金

【5億1,254万6千円】

新和保育園と和久野保育園の統廃合および民営化に伴い、新保育園の受託法人に対して新保育園の新築工事費に係る経費の補助を行います。

#### ★市民文化センター維持補修工事費

【93万円】

身体障害者便所にオストメイト対応トイレパックを新設します。

#### ★介護保険事業計画等策定事業費

【414万5千円】

高齢者の介護、保健、福祉の施策を計画的に推進するため敦賀市第5期介護保険事業計画および敦賀市高齢者健康福祉計画(平成24年度～26年度)の策定などを行います。

### 港やエネルギーなど特色を活かした産業基盤の強化

#### 広域連携大学施設整備事業費

【14億7,348万3千円】

特色ある原子力分野などの教育・研究機能を有する広域連携大学拠点形成の中核となる「福井大学附属国際原子力工学研究所」の施設を整備します。

#### ★伝統野菜復活支援事業費

【70万円】

敦賀市で昔から栽培されてきた伝統野菜(杉箸アカカンパ・黒河マナ・古田苧かぶら)の復活に向けて取り組んでいる、意欲のある農家に対し支援します。

#### 沿岸漁業生産拡大推進事業費補助金

【861万4千円】

稚貝・種苗の放流、海底耕うんおよび保護礁の設置に対し補助します。

#### ★国際RORO船利用拡大モデル事業費負担金

【43万円】

福井県が実施する「敦賀港国際 RORO 船利用拡大モデル事業」において、企業への補助金額の1/2を負担します。

### 歴史的な街並みを活かした風格ある市街地整備

#### 駅舎等改築事業費

【9,069万5千円】

敦賀駅のバリアフリー化整備と併せ「港まち敦賀」の玄関口にふさわしい賑わい交流施設を建設します。

#### 駅舎バリアフリー化補助金

【12億3,072万8千円】

高齢者、障害者などを含む全ての人が、円滑に移動できるように、JR西日本が実施する敦賀駅舎のバリアフリー化整備に対して補助を行います。

#### 博物館保存活用事業費

【125万8千円】

博物館の修復および活用の委員会を開催します。また、文化財保護の重要性や、博物館のあり方について市民の意見を聞くワークショップを開催します。

### 確かな学力・体力の育成と郷土愛を醸成する敦賀スタンダードの構築

#### 敦賀教育スタンダード事業費

【427万8千円】

学習指導要領の方針、目標、内容などを確実に実践しながら、敦賀市の歴史、伝統、文化、経済など特色ある内容を織り込み、未来を担う敦賀っ子を育成するための教材開発など敦賀独自のカリキュラムを作成します。

#### ★コア・ティーチャー養成事業費

【33万2千円】

読解力や活用力を向上させるための授業づくりや授業研究の核となる教員(コア・ティーチャー)を育成するための指導・支援を行います。

#### ★ソーシャルワーカー配置事業費

【84万8千円】

さまざまな環境的要因により学校生活に不適應を起こしている児童・生徒および保護者との関わりを持ち、環境改善をするためのスクールソーシャルワーカーを配置します。

#### ★歴史遺産調査研究事業費

【64万4千円】

水戸烈士記念館(鯨倉)について、歴史的価値を確定するため学術的な建物調査を行います。

### 地域のつながりを基盤とした消防・防災体制の確立

#### ★防災啓発ラジオ放送委託料

【68万1千円】

防災啓発に関するFMラジオ番組の作成・放送を委託します。

#### 急傾斜地崩壊対策事業費

【400万円】

急傾斜地の崩壊防止工事を行うための測量調査などを行います。

#### 角鹿中学校校舎耐震改修事業費

【9,290万4千円】

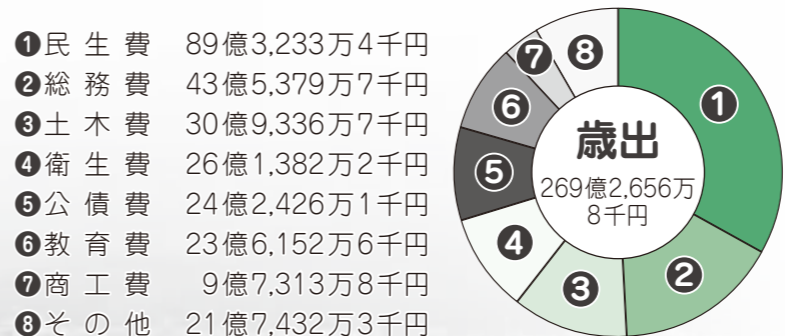
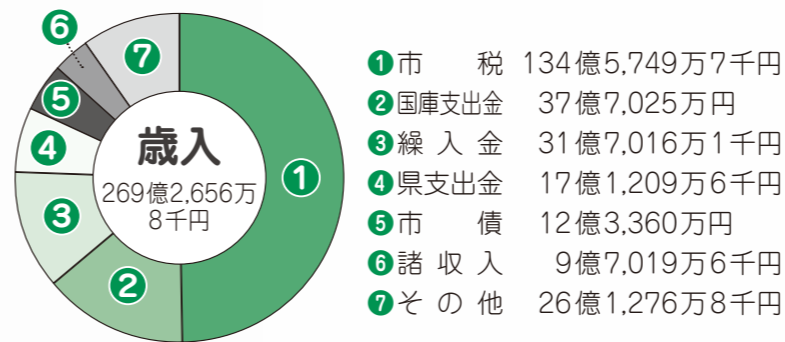
角鹿中学校校舎普通教棟の耐震改修工事を実施します。また、平成22年度から引き続き仮設校舎を借上げます。

(★は新規事業)

## 予算総額

▶一般会計	269億2,656万8千円	(前年度比 5.1%)
▶特別会計	149億5,006万6千円	(前年度比 4.6%)
▶企業会計	87億9,463万9千円	(前年度比 1.9%)
合計	506億7,127万3千円	(前年度比 4.4%)

### 一般会計の内訳



平成23年度の当初予算は、市税の大幅な増収が見込めない中、社会保障関係経費の増加などにより、財源確保が厳しい状況となっておりますが、不足する財源については各種目的基金からの繰入等で対応するとともに、さらなるコスト縮減に努めました。

今年度は、4月に市長および市議会議員選挙が行われるため、骨格予算となりますが、継続費、債務負担行為の設定された事業や早期に予算措置を必要とする事業を計上し、住民生活に支障が生じないように留意しました。

予算配分においては、5つの重点施策に掲げた項目に基づき、配分しました。

### 市民1人あたりの予算 390,003円

議会費	4,074円	議会の活動
総務費	63,060円	庁舎・財産の管理など
民生費	129,375円	高齢者・障害者・子どもの支援
衛生費	37,859円	保健医療、環境保全、廃棄物対策など
労働費	3,066円	勤労者のための施設運営、金融対策など
農林水産業費	11,402円	農業・林業・水産業の振興
商工費	14,095円	商工業・観光の振興
土木費	44,804円	道路・橋などの整備・維持管理
消防費	12,922円	火災・救急・救助業務など
教育費	34,204円	学校・社会教育、文化・スポーツ振興
公債費	35,113円	市債の元金、利子の支払い
予備費	29円	予算外の支出などの備え

※一般会計の予算額を平成23年2月28日現在の敦賀市の人口69,042人で割ったものです。